



2023年6月改訂  
2022年4月改訂

貯法 室温保存

動物用医薬品

承認指令書番号 29 動薬第 990 号  
販売開始 2014 年 12 月



167143 R1

非ステロイド系鎮痛抗炎症剤  
要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

# バナミン<sup>®</sup>ペースト

## BANAMINE<sup>®</sup> paste

®登録商標



バナミン ペーストは、1 g中、主剤としてフルニキシメグルミンをフルニキシシとして50 mg含有する経口ペースト剤である。フルニキシシは、1966年にシュERING・プラウ社により合成された非ステロイド系消炎鎮痛薬(NSAIDs)で、その主たる作用機序としてアラキドン酸代謝におけるシクロオキシゲナーゼ活性を阻害することによりプロスタグランジンの産生を抑制することが明らかにされており、主としてこの作用により解熱・消炎・鎮痛効果を示すと考えられている。

【成分及び分量】 本品1 g 中

成分		分量
主剤	フルニキシメグルミン (フルニキシシとして)	83.0 mg (50 mg)

【効能又は効果】

馬の運動器疾患に伴う炎症及び疼痛の緩和

【用法及び用量】

1日1回体重1 kg当たりフルニキシシとして1 mg (ペースト製剤として0.02 g) を経口投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・ 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・ 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・ 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・ 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、馬について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

馬：食用に供するためにと殺する前5日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・ 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・ 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・ 小児の手の届かないところに保管すること。
- ・ 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・ 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・ 本剤は使い切りとし、再使用しないこと。

### 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・ 誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(馬に関する注意)

- ・ 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

#### ① 対象動物の使用制限等

- ・ 本剤は妊娠動物には投与しないこと。
- ・ 胃・十二指腸潰瘍、血液凝固障害、肝不全、腎不全がある馬には投与しないこと。
- ・ フルニキシメグルミン又は添加剤にアレルギーのある馬には投与しないこと。本剤には添加剤としてトウモロコシデンプン、プロピレングリコール及びカルメロースナトリウムを含む。

#### ② 重要な基本的注意

- ・ 本剤を反復投与する場合は5日間を限度とすること。
- ・ 本剤のシリンジ容器に設定されている切り欠き及び目盛りは、150 kg未満の馬に有効量が正確に投与できるように設計されていない。
- ・ 100 kg未満の馬には有効性及び安全性は確認されていない。
- ・ 出血傾向のある馬への投与に際しては、本剤の有効性及び安全性を十分に勘案した上で、投与の可否を慎重に判断すること。
- ・ 本剤は対症療法であるため、診断を正確に行うと共に、適当な併用療法あるいは原疾患の根本的治療を行うこと。
- ・ 本剤は、体重50 kg単位で切り欠き及び100 kg単位で目盛りが設定されたシリンジ容器により、体重150 kgから550 kg未満の馬に対して、フルニキシシを50 mg単位で投薬できるように設計されている。体重が50 kgの倍数にならない場合には、体重50 kg単位で繰り下げた用量を、体重が550 kg以上の馬に対しては2本のシリンジを適切に組み合わせて使用すること。

#### ③ 相互作用

- ・ 他の非ステロイド系及びステロイド系抗炎症剤と併用した場合、消化器系の副作用を増強させるおそれがある。
- ・ 本剤は血漿蛋白結合率が高い非ステロイド系抗炎症薬であり、蛋白結合率の高い他の薬剤と併用すると血漿中の蛋白との結合において競合し、本剤又は競合する薬剤の血漿中遊離濃度が変化し、それぞれの薬剤の有効性及び安全性に影響するおそれがあるので、併用する際には十分に注意すること。なお、蛋白結合率の高い薬剤としては、ループ利尿剤や炭酸脱水酵素阻害剤等の利尿剤、一部のACE阻害剤及び抗凝固剤等がある。
- ・ ゲンタマイシンなどのアミノグリコシド系抗菌剤と併用した場合、腎機能障害のリスクが高くなることがある。
- ・ ワルファリンなどの抗凝血剤と併用した場合、出血の危険性が増大するとの報告がある。

#### ④ 副作用

- ・ 本剤の投与により、消化性潰瘍又は消化管出血があらわれることがあるので、観察を十分行い、症状が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- ・ 本剤の投与により血液障害(溶血性貧血、白血球減少、血小板減少)があらわれることがあるので、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- ・ 非ステロイド系抗炎症薬の一般的な副作用として、肝障害及び腎障害が報告されており、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

## 使用期限

外箱及びラベルに表示

## 包装

10g 入りシリンジ × 6 本

### シリンジの使用方法

- ① キャップを外してください。
- ② 先端を上に向けたままダイヤルを0の目盛に合わせて押し込んでください。  
その際、空気と共に少量の薬液が漏れる場合がありますので、ふき取ってください。
- ③ ダイヤルを馬の体重に合わせてください。
- ④ プランジャーを押して薬液を馬の口に流し込んでください。

【製品情報お問い合わせ先】

**物産アニマルヘルス株式会社**

<https://www.bussan-ah.com>

販売元

**物産アニマルヘルス株式会社**  
大阪市中央区本町2-5-7

製造販売元（輸入）

**MSDアニマルヘルス株式会社**  
東京都千代田区九段北一丁目13番12号



**MSD**

Animal Health

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。